

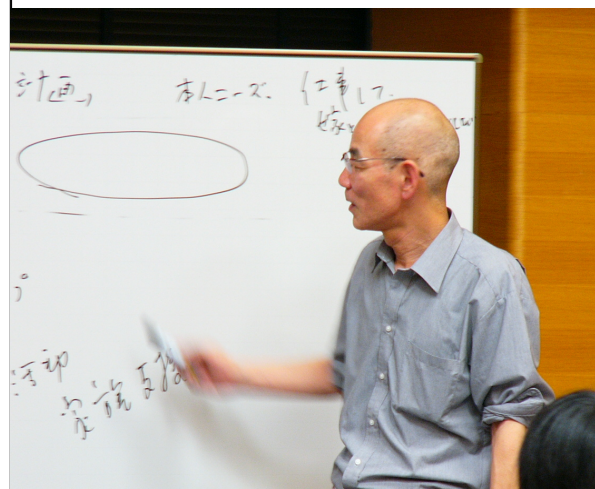
<活動の様子>



1 回目；医療編 大藤先生による講演



← 2 回目；教育編 渡部先生による講演



← 3 回目；福祉編 田所先生による講演



事業名 「学童期の精神保健について考える」講演&学習会

<目的>

現在、発達障害を持つ子どもの適切な支援が学校や地域において重要視されています。医療の発達に伴い、より、詳細な診断名がつくようになってきてその支援のあり方も積極的に議論されています。しかし以前と違い地域のつながりが希薄になり、少子高齢化や様々な社会背景に伴い、地域との繋がりが薄いゆえに孤立した子育てにもなりやすく、必要な支援が子ども達に行き渡っていない事例も多々あります。学校だけでは、発達支援が必要な保護者・子どもにその支援の手が差し伸びにくくなっているのが現状です。子どもの発達支援は学校だけで出来るものではなく、その子を取り巻く地域（医療・教育・福祉など）が緩やかに繋がる仕組みが必要です。

そこで、思春期前の特に学童期における発達支援を中心とした学習を教育関係者や保護者などに対して行い、少しでも子ども達の発達支援を視点にみんなが希望のある安心して暮らせるまちづくりのヒントになれば思い、同時に、ひとりひとりの力が必要でありみんなが大切な主人公であり支援者であることを伝えたい為に開催しました。地域福祉にも役に立てれば幸いです。

<事業内容>

「学童期の精神保健について考える」をメインテーマとしてそれぞれ、医療・教育・福祉分野で子どもの精神保健や発達支援に関わっている専門家の方に講演&学習会を開催していただきました。各分野の講師の方と、日程や副題は以下の通りです。

第1回目	医療編	8/22	副題「小児科からみた子どものメンタルヘルス」
第2回目	教育編	9/22	副題「供に育て、供に育とう ～教育・カウンセリングの現場から～」
第3回目	福祉編	10/21	副題「個別支援と地域支援 ―グループワークを中心に―」

<市民の参画や他団体との連携>

ボランティアスタッフの協力を得ながら、各種準備や当日の運営に当たりました。松山市教育委員会や社会福祉協議会の後援を頂き広報にあたりたり市民活動配送便などを活用し、広く市民に周知できる工夫をしました。また、市内児童クラブにも案内チラシを配布しました。

<市民に対するPR>

今、学童期の心の健康が問われることが増えています。睡眠障害に陥る子、不登校になる子、いじめ問題、などなど。子どもの元気な心を保つ為に私達ができること、気をつけていかなければいけないこと、これからも支援者や子育てをしている方のお役に立つ情報発信や学習の機会を積極的に作りたいとおもひ、企画を考えました。皆さんも良かったら一緒に考えてみませんか？

NPO 自立サポートネットゆうは今後も学童期を中心とした発達支援（子どもが元気に成長していけるよう）をメインに活動していきます。そして、地域で子どもが元気に過ごせる場を作りながら、その地域に住む全ての人の居場所や出番があるまちづくりにがんばっていききたいと思います。応援よろしくお願い致します。